土佐日記 ●帰京●

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段
帰京して〔①　　〕に着いて様子を見ると、〔①　　〕は壊れいたんでいた。留守を預かっていた〔②　　〕の〔③　　〕の荒れ具合も分かった。それでも〔④　　〕はしようと思う。	屋敷の池のほとりの〔⑤　　〕も半ばは枯れている。新しく生えた小〔⑤　　〕が交じっているのを見て、〔⑥　　〕悲しみを新たにし、歌を詠むが、思いは尽きない。この日記を破り捨てようと思う。

重要語句 次の語句の意味を答えなさい。

(1) 言ふかひなし
(2) つらし
(3) もろともに
(4) 口惜し

重要文法 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 次の部分から係助詞と係り結びの結びの語を抜き出しなさい。

(1) 言ふかひなくぞこぼれ破れたる。（七九・3）
(2) 千年や過ぎにけむ（七九・8）
(3) 今生ひたるぞ交じれる。（七九・8〜9）
(4) 「あはれ。」とぞ人々言ふ。（七九・9）
(5) なほ飽かずやあらむ（七九・14）

	係助詞	結びの語
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

2 傍線部「せ」と「て」を文法的に説明しなさい。

(1) 声高にものも言はせず。（七九・6）

(2) 志はせむとす。（七九・6）

(3) 池めいてくぼまり（七九・7）

(4) 疾く破りてむ。（八〇・2〜3）

内容理解　次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1「聞きしよりもまして」(七九・3)とあるが、A誰が、Bどこで、C何について、Dどのように聞いていたのかを答えなさい。

A［　　］が B［　　］で、都の C［　　］について D［　　］ことを聞いていた。

2「望みて預かれるなり。」(七九・5)とあるが、誰が何を預かったのか。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

A［　　］の人が、作者の B［　　］を預かった。

3「いとはつらく見ゆれど」(七九・6)の意味として適当なものを次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　作者が、家の荒れたことをつらく思っている。
イ　作者が、家を荒れた状態にした隣人を薄情だと思っている。
ウ　家人が、声を出せないことをつらく思っている。
エ　家人が、声を出させない作者を薄情だと思っている。

［　　］

4「五年六年のうちに、千年や過ぎにけむ」(七九・7〜8)とあるが、この言葉に込められている心情の説明として適当なものを次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　五、六年の赴任の期間が長期であったことへの嘆き。
イ　五、六年の赴任の間に年老いてしまったことへの嘆き。
ウ　五、六年の赴任の間に松が生えてしまったことへの嘆き。
エ　五、六年の赴任の間に家が荒れてしまったことへの嘆き。

［　　］

5「生まれしも」(七九・13)と「見し人の」(八〇・1)の歌について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

(1)「小松」は、何を思い出させたか、本文から**十字程度**で抜き出しなさい。

［　　］

(2)「遠く悲しき別れ」とは、具体的にどのようなことを指すか答えなさい。

［　　］

(3)二つの歌に共通する心情を説明しなさい。

［　　］

6「疾く破りてむ。」(八〇・2〜3)からは、作者のどのような心情が読み取れるか。次の語句に続く形で説明しなさい。

漢文で書かれた公的な実録日記と違って、この日記は、［　　］だと謙遜する気持ち。